

8. 福祉・子育て

	タイトル	意見等
1	介護現場の現状	コロナが五類になり世の中は過去の事になっていますが、介護現場は疲弊しまくりに離職に歯止めが効かない状態です。実際親が入所している施設でもコロナ前はスタッフの皆さんも愛想良く、きっちり介護して頂いてる感じでしたが、現状は離職されたスタッフの分まで働かれ、離床回数も人数が足りないせいか二回が一回になり、以前の十分なケアは受けれていない様な気がします。徳島県は教育現場の事務職の給与が何故か東京に次いで高いと伺いました。県内の物価等に対して給与を高く設定しているのは何故でしょうか？上げるのは事務職ではなく、高齢化率の高い徳島県ならではの必要な職種イコール介護職ではないですか？世の中はやたら少子化対策とかと謳い、保育士等の待遇改善が必須となっていますが、それ以上に益々必要な介護職の待遇改善が急務ではないですか？介護職を公務員化して、役所でさほど必要ではない部署や能力の無い人の見直し等されるだけで、税金を介護現場に充てる事は出来るはずです。前明石市長さんもやれない事はないと仰り、子育て政策で評価されています。是非とも後藤田知事の手腕に期待しています。急務な改善な事として、現場を早急に視察してください。何卒宜しくお願い致します。
2	これからの社会福祉に求められること	○ 徳島県が、社会福祉の無償のボランティア支援活動を求める側と社会福祉の無償のボランティア支援活動をしたい側とのマッチングの場所を設けることです。 ○ 徳島県が、国家資格の社会福祉士及び国家資格の介護福祉士の人材育成に力を入れることです。